

第3期第4回日進市在宅医療・介護連携に関する検討部会兼
令和4年度第2回日進市在宅医療・介護連携支援センター運営協議会 議事録

日 時	令和5年2月17日（金） 午後2時から午後3時まで
場 所	東名古屋医師会事務所会議室（オンライン併用）
出席者	大島 亮、井手 宏、伊藤 志門（部会長）、中井 英貴（副部会長）、 長谷川 清、北條 千恵美、高山 須美子、鈴木 功子、河端 祐子、 中島 五郎、山田 紀子、横山 英治、横山 利美（代理）、 村井 良則
欠席者	岩本 佐美
事務局	祖父江 直文（健康福祉部次長兼地域福祉課長）、梅村 英子（健康 福祉部介護福祉課長）、松浦 理早（健康福祉部健康課長）、西尾 直樹（地域福祉課主幹）、野村 圭一（地域福祉課地域支援係長）、 櫻木 順子（地域福祉課地域支援係主査）、島津 ありさ（地域福祉 課地域支援係主任） 徳井 春美（日進市在宅医療・介護連携支援センター）、水口 ふみ （同左）
説明の為に 出席した者	小椋 大嗣（株式会社インターネットイニシアティブ）
傍聴の可否	可
傍聴の有無	無
次 第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 （1）令和4年度日進市在宅医療・介護連携推進事業報告について （2）令和5年度日進市在宅医療・介護連携推進事業計画について （3）健やかにつしん・ヘルピーネット（電子@連絡帳）の運用に ついて 4 その他 5 閉会
配布資料	次第 委員名簿 資料1 令和4年度日進市在宅医療・介護連携推進事業報告 参考資料1 令和4年度事業一覧 参考資料2 令和4年度出前講座アンケート結果 資料2 令和5年度日進市在宅医療・介護連携推進事業計画（案） 資料3 健やかにつしん・ヘルピーネット（電子@連絡帳）の運用 について 別添資料1 愛知県医療療育総合センター「ここのーと」紹介資料 別添資料2 愛知県内広域連携協定加入説明文書 別添資料3 このはネットとの広域連携協定の締結依頼文書

別添資料 4 広域連携協定書（案）

発 言 者	内 容
	1 開会
	2 あいさつ
	3 議題
事 務 局	それでは、これからの進行については部会長をお願いします。
部 会 長	皆様よろしくお願いします。 それでは、議題（１）令和４年度日進市在宅医療・介護連携推進事業報告について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	（資料１、参考資料１～２に基づき説明）
部 会 長	今の報告に対してご質問があればお受けいたします。いかがでしょうか。
	（質問なし）
部 会 長	ありがとうございます。 それでは、議題（２）令和５年度日進市在宅医療・介護連携推進事業計画に移りますが、分かりづらい部分を少しだけ整理したいと思います。 やまびこ日進が市から委託されて行っている事業で、１番目が医療・介護の課題の把握と企画立案、２番目が相談支援とその対応、３番目が市民啓発事業です。やまびこ日進は、本来は市民の相談を受けるところではなく、医療と介護の専門職の連携支援が目的ではありますが、市民への啓発も行っています。４番目は情報共有の支援と研修です。 企画立案では、今年度の６月の部会の際に説明がありましたが、ＡＣＰと情報連携の２つのプロジェクトチームを立ち上げ、専門職の方に参加していただき検討していこう、ということで、既に何回も会議を重ねて実績を出しているところです。 市民啓発に関しても、市民公開講座や出前講座を開催したり、在宅医療・介護連携事業について広報にっしんに記事を掲載したりしました。 これが今年度までの事業で、来年度については今のところは新しい事業をやるかどうかは考えておりませんが、ＡＣＰと情報連携のプロジェクトチームから新事業の意向が出てくれば、来年度１回目の会議で議題に挙がってくるかと思います。 ４つの場面では日常の支援にどうしても偏ってしまい、もちろん日常の支援が必要な人が多いのですが、国としては入退院支援や急変時の対応、看取りに取り組んでほしいということです。そのため、次年度の事業については、色々こちら（資料２）に書いてありますが、これまでＨ２Ｏミーティングや井戸端会議では、回ごとに違うテーマで開催していましたが、来年度はあえてテーマを絞って、例えば急変時

発 言 者	内 容
部 会 長	の対応について話してください、入退院時の支援について話してください、というような形でこちらからテーマ振りをして、4つの場면을均等に開催するということを話しております。出前講座にしても、今年度は日常支援のテーマばかりだったのですが、入退院支援の話とか急変時の話とかをテーマとして提案し、重点的にやっていきたいと思っています。 今まで継続的に実施してきた事業を分散させて、この表（資料2）の空いてるところを埋めていった方がいいかと思っていますので、委員の皆さんも、こういう部分が足りていない、こういうことをやってほしいなどありましたら、ご指摘やご意見などいただきたいと思います。ここまでの説明でご質問などいかがでしょうか。
	（質問なし）
部 会 長	事務局から補足説明があればお願いします。
事 務 局	（資料2に基づき説明）
部 会 長	事務局からの説明について、ご質問はありますでしょうか。
	（質問なし）
部 会 長	皆さんからの意見もこのような形で集約していただいていますので、また何か思いついたことがありましたら、ヘルピーネットに発信していただければと思います。 具体的な事業計画については6月頃には提示できると思いますので、皆さんご協力お願いします。 現時点で、この通り予定させていただいて良いという方は挙手をお願いします。
	（全員挙手）
部 会 長	ありがとうございます。 それでは次の議題に移りたいと思います。議題（3）健やかにつしん・ヘルピーネット（電子@連絡帳）の運用について地域福祉課からお願いします。
事 務 局	（資料3、別添資料1～4に基づき説明）
事 務 局	ただ今のお話にありました、「このはネット」とはどういうものかにつきまして、本日は株式会社インターネットイニシアティブ（以下、I I J）の小椋氏に会場に来ていただいていますので、詳しい説明をお願いしたいと思います。
I I J	（別添資料1に基づき説明）
事 務 局	ここまでのところで一旦説明を切らせていただきまして、ご質問などいかがでしょうか。
部 会 長	学校側との連携は今後どうなるかは決まっていますか。養護教諭が連携に入れるなどがありますでしょうか。

発 言 者	内 容
I I J	先行事例として、瀬戸市のさくらんぼ学園に導入をお願いして、学校側との連携を手探りで始めております。ただ、IT導入にあたり、セキュリティなど、クリアしなければいけない課題もございます。実例という意味だと先行で始めておりますので、そのあたりの検討を将来的に進めていければと思っております。
部 会 長	医療的ケア児の受け入れは現在国も力を入れていて、日進市も受けると言っていたので、ぜひともやっていただきたいと思います。 小児の難病状態の子は、名古屋市立大学病院が結構力を入れていますが、名古屋市立大学病院やあいち小児保健医療総合センターとの連携も同じプラットフォームに乗るのかも教えてもらえると嬉しいです。
I I J	今回、愛知県庁の福祉局の予算立てということで、県の一般財源を使っております。 愛知県青い鳥医療療育センターやあいち小児保健医療総合センター、名古屋市立大学病院の方で電子連絡帳の医療的ケアの小児支援として入ってきています。ですので、この辺が一体となって小児支援のネットワークとして構築できるような形を予定しております。
部 会 長	ありがとうございます。 皆さん他にご質問などがありますでしょうか。
	(質問なし)
部 会 長	それでは、このはネットとの広域連携協定締結につきまして、承認していただける方は挙手をお願いできますか。
	(全員挙手)
部 会 長	全員一致で承認とさせていただきます。
事 務 局	それでは続きまして、資料３の後半部分を引き続き説明させていただきます。
事 務 局	(資料３に基づき補足説明)
部 会 長	規約の変更に関して、何かご意見がありますでしょうか。
	(意見なし)
部 会 長	障害の機関はそこまで多くはないので、そこまで広がるとは思えないですが、学校に関しては結構広がるかもしれないですね。 この会議で承認されると正式に決定となりますか。
事 務 局	電子連絡帳の規約関係は、この会議で諮らなっていますが、来週開催される障害者自立支援協議会でも同じ説明をさせていただき、その上で最終的な決定にしたいと思っております。 先日、日進市障害者相談支援センターの相談員向けにも、このはネットと障害への拡大について少し説明させていただき、意見交換などもさせていただきました。その中で相談員から、障害福祉サービスを

発 言 者	内 容
部 会 長	使っていらっしゃる方が65歳になって介護保険に切り替わる時に、その引き継ぎでも電子連絡帳は使えますかという話がありました。例えばですが、電子連絡帳上で障害福祉の方でチームとして組んでおいて、介護保険に切り替わった時に、そのチームの中にケアマネジャーを加えることによって、これまでの記録などがケアマネジャーと共有できるので、過去のケアの記録も含めて情報の引き継ぎがしやすくなるのではないかという話はさせていただきました。そういった使い方も含めると、障害福祉の方でもメリット等があるのではないかと思います。
部 会 長	ヘルピーネットでも思うのですが、全員がパソコンの前に張り付いているわけではないので、このはネットに流したから見ておいてくれますよね、みたいな圧がかかってくると、今までのことは連絡しないというようになってしまうと少し困るので、しばらくは二重になってしまうかもしれませんが、地道に広げていくしかないかなと思います。 先ほど校長先生にもアカウントをとという話でしたが、校長先生ではなく、現場の養護教諭に渡すなど工夫してほしいのと、教育委員会の話にはなりますが、現場の人が見やすいようにしていただければいいかなと思います。 あと、非常に長い電子連絡帳のデータをどうやってサマライズするのか、昔に書いた内容を探すのが大変というのがヘルピーネットでもあるので、その辺のノウハウはぜひとも小児の病院のカルテとか、電子カルテの仕組みを見習っていただけるといいです。1年ごとにサマライズしているのかもしれないし、大事なところにタグを付けてるのかもしれないですが、そういった仕組みがないと、どこを見たらいいか分からなくなってしまうので、そこはI I Jさんのご協力というか、努力が必要かなと思います。すみません、私の私見でした。 この規約の改正に関して、承認いただける方は挙手をお願いいたします。
	(全員挙手)
部 会 長	では、本会議では承認とさせていただきます。
委 員	1つ質問よろしいですか。ずっと先の話かもしれませんが、将来的にはマイナンバーではないですが、医療や介護や障害であったり、高齢者や児童であるとか、そういうものを国としては全部1つのIDで個人が管理していくような世界を目指そうとしているんですか。
I I J	私も厚労省の老健局の部会に入っているのですが、マイナンバー活用に関しては先生がおっしゃる通り、一つのレコードに紐付けるように検討がされております。やはりこれまでの様々な資格証とか免許証といった公的証明も含めて、国としてはマイナンバー連携を中核に地

発 言 者	内 容
I I J	方行政を進めていきたいというような形で、一応検討の段階に入っております。
	4 その他
部 会 長	以上で決議すべき議題は一応出揃ったのですが、他に皆さんからご意見などがあればいただきたいと思います。
	(意見なし)
部 会 長	事務局から次回の案内などありますか。
事 務 局	今年度の会議はこれで終了となります。また5月か6月あたりに令和5年度第1回の会議を開催させていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。 それ以外にも何か適宜こちらから報告することがありましたら、電子連絡帳のプロジェクトを使ってお伝えさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。 事務局からは以上です。
部 会 長	ここで意見がまとまらなかったり、何か頭を巡らしている場合は、後からゆっくり考えていただいて、ぜひ電子連絡帳の方に投げただけだと拾っていききたいと思いますのでよろしくお願いいたします。 また併せてやまびこ日進の活動についてのご参加とご助言、ご協力をお願いしたいと思います。 以上をもちまして、第3期第4回日進市在宅医療・介護連携に関する検討部会兼令和4年度第2回日進市在宅医療・介護連携支援センター運営協議会を閉会いたします。
	5 閉会